

めざす児童像

自分の考えや意見をもつことができ、  
友達の意見や立場を尊重することができる児童

## 資料名 「いのりの手」

めあて

友達のことを思って絵を描いたデューラーの気持ちを  
通して、友達を大切にしようとする心情を育てる。

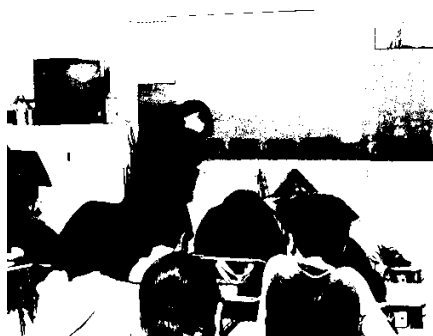
### ◎学習活動の様子

資料「いのりの手」は、友達の才能を信じ、  
友達のために行動したハンスと、ハンスの深い  
友情を知り、心をこめてハンスの手を描き上げ  
たデューラーの物語である。

本時では、デューラーの気持ちを通して、  
友達を大切にすることについて考えていった。

ねらいに迫るための指導の工夫としては、教材

提示と場面ごとに机の向きを変えたことである。まず教材提示の工夫では、パネルシアターによる提示をして、物語の中により集中できるようにした。そして「いのりの手」の絵は、はじめではなく、中心発問の前に掲示する工夫をした。また、場面ごとに机の向きを変える工夫では、全体での意見交流の場を中心とした。そのため、全体での意見交流の場面では机をコの字型にし、個人でじっくりと考える終末の場面では、机を前向きにする工夫をした。



成果

・パネルシアターによる提示をしたことで、一人一人が物語の中に入り込んで考えることができた。

・場面ごとに机の向きを変えたことで、より集中して考えることができた。

課題

・中心発問でより考えを深められるように、補助発問を工夫する必要がある。

・後段の活動は、中心発問で考えたことから、自分自身を振りかえる活動を考えていく。